

年次報告書 2019

子 ども た ち の 明 日



認定NPO法人
幼い難民を考える会
CARING FOR YOUNG REFUGEES

年次報告書によせて

皆様の温かいご支援があつてこそ、CYR が今日まで活動を続けてこられましたことを、改めて感謝申し上げたいと思います。

2018 年度は、カンボジアの幼児教育政策に大きな前進がありました。教育省が地域の幼稚園を評価し、一定水準を満たす幼稚園に政府の予算を配分したのです。「村の幼稚園」事業にとって強力な追い風となるこの機運をしっかりと捉え、活動を積極的に展開した結果、新制度についての理解も深まり、実績も上がりつつあります。一方、財政面では収入の緩やかな減少が続いており、引き続き、ご支援をお願い申し上げます。また少子高齢化のトレンドが今後とも続く時代にあつて、若い世代のご支援、ご協力を頂ける事を目的とする啓蒙運動をしてまいります。



代表理事 牛場 輝夫

目次

年次報告書に寄せて・目次	2
2018 年度事業報告と 2019 年度事業計画	
Ⅰ カンボジア事業	3
1. カンボジア保育事業	
2. カンボジア織物事業	
Ⅱ 日本国内事業	5
2018 年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会	
・ 2018 年度決算・監査報告書・2019 年度予算	7
・ 活動収支年度別推移表	9
幼い子どもと女性の自立のために当会を支えている人々と団体	
・ 2018 年度 補助金受け入れ先、寄付者、みんなで布チョッキン実施団体	10
わたしたちの組織	
・ 会員数、寄付者数、役員、職員、活動履歴	11

2018 年度事業報告と 2019 年度事業計画

▶ I カンボジア事業

1. カンボジア保育事業



村の幼稚園

① 既存の「村の幼稚園」(5村6クラス)に対して、月1回のモニタリングを実施し、保育者の実践の観察から子どもへの対応、カリキュラムに添った教材の準備と実践方法などを指導した。資金面の支援(保育者給与、補助給食、行事費用等)と地域住民による幼稚園への協力促進(保護者に幼児教育の大切さを伝え、幼稚園への協力金の納入を促す)に努めた。

2019年度は州・郡の幼稚園担当者をコアトレイナーに迎えた研修を実施し、地域幼稚園のスタンダードへの理解を深め、公立小学校付属地域幼稚園認定にむけた準備を行う。

② 新規に「村の幼稚園」をコンポンチュナン州内の5ヶ所に開設した。開園に先立ち、保育者は10日間の事前研修を受け、9日間の実習を行った。

2019年度は新たに3ヶ所の「村の幼稚園」を開設予定である。



③ 2018 年度から自主運営に移行した「村の幼稚園」6ヶ所に対してフォローアップを行なった。保育者が補充できずに閉園した1ヶ所を除いて、良好に継続運営されている。また、教育省が新たに導入した地域幼稚園のスタンダード認定制度に適合するよう、外遊具を元「村の幼稚園」11ヶ所に設置した。11月には6園が認定されて政府が保育者給与を支給。継続運営に財政面で大きな弾みとなった。



公立地域幼稚園との保育者研修、地域のネットワークづくり

「村の幼稚園」の保育者と地域幼稚園の保育者の意見交換、訪問観察を実施した。

保育教材・布ボール・人形の提供

NGO 4 団体の支援する約 174 ヶ所の地域保育所・幼稚園へ人形 618 体、布ボール 1246 個を提供した。

都市スラムの保育所支援事業

ケマラから独立し自主運営中の 2 保育所にお米（1 ヶ所月 70Kg）と豆乳（月 2 回）を支援した。

奨学金

2018 年に高校を卒業した卒園児を対象に公立幼稚園教員養成所に進学し保育職を志望する学生を面接したが、奨学金を支給する対象者はいなかった。

2019 年度は募集範囲を広げて、優秀な人材の確保を目指す。



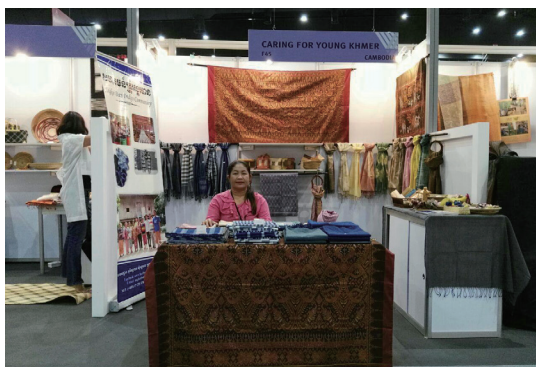
2. カンボジア織物事業

研修

アンコールバーン村での継続収入向上が見込めるよう①泥藍づくり研修、②スカーフ織り研修、③絞り染め研修、④他団体が実施する販売促進の研修、⑤フランス人デザイナーによる新しいスカーフのデザインのし方の研修を実施した。

販売

アンコールバーン村では、日本の藍染め工房3ヶ所から定期的な泥藍の注文が入り、1300キロ余り輸出した。タケオの織物センターでは、プノンペンの結婚衣装仕立ての会社から絹緋地の大量注文が入り約250mの絹緋地を製作している。2019年度も同程度の販売を見込んでいる。



▶ II 国内事業

1. 資金確保のための活動

寄付・募金のお願い、補助金・助成金申請の実施

ニュースレター発送時、会費納入のお願いを同封し、納入率70%となった。募金のチラシも同封したが、期待した成果は得られなかった。助成金については2018年度事業に対し6件で894万円が入金され、2019年度の事業助成金申請に関しては、4件約276万円が採用された。

2. 広報事業

インターネットを活用した広報活動

ホームページ月1回、Facebook 週1回の更新を目標に行ったが、下期は少なかった。2019年度はホームページのスマートフォン対応を計画している。

支援企業・団体への活動報告

第17回総会終了後に、プノンペン事務所長チャン・スレイが、新たに導入された地域幼稚園の「公立小学校付属幼稚園」認定制度を紹介しながら、「村の幼稚園」の地域移管後の継続運営について報告をした。また、2団体・1企業、1大学で事業報告を行った。

「みんなで布チョッキン」

製作された人形用布は935体分、ボール用布は3337個分、寄付額の合計は約258万円であった。企業・団体などの実施回数は延べ37回、個人では延べ41名がこの活動にご参加いただいた。

カレンダーの製作と販売

カンボジア在住のフォトジャーナリスト・高橋智史氏と協力し、子どもをテーマとしたカレンダーを製作した。625冊を販売し、総売上額は約51万円、収益は約23万円であった。

2019年度もカレンダーの制作販売を予定している。

3. 織物販売

国内での担当職員は置かず、委託販売、教会での販売会などで在庫クリアランスに努めた。2019年度も引き続き在庫クリアランスに努める。

4. ボランティアとの協力促進

年間、延べ160名の方々が、総計499時間のボランティア活動にご参加いただいた。第2・第4水曜日のボランティアデーには「みんなで布チョッキン」のサポート（活動説明や布の検品）、発送作業、織物製品の販売準備等、ニューズレターのレイアウトやデータ入力作業等も随時対応頂いた。企業ボランティアの方も金曜日の午後、資料のコピー等事務所内作業に協力いただいた。2019年度も協力をお願いする。

5. スタディーツアー

12月にボランティア、会員、寄付者の有志が「村の幼稚園」や織物センターを訪問し、現地の子どもや保育者、織り手と交流した。帰国後に意見交換会を実施した。

6. 管理

東京事務所は、事務局長、経理総務（パート）、広報（パート）の3名体制で運営した。

定例理事会を以下の日程で開催し、会の運営や事業の進捗状況確認、協議した：

4月25日（第88回）、7月26日（第89回）、11月8日（第90回）、1月29日（第91回）

尚、プノンペン事務所長チャン・スレイはカンボジアでのGPP認定取得に親団体の理事兼務が抵触する為、理事辞任の申し出があり、第89回の理事会において承認された。

2019年度より、カンボジアの会計法律変更に伴い、従来、退職時一括支払であった退職金を年度毎に支払う。

2018年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会

▶ 活動計算書（要約）

（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

（単位：千円）

科目	2017年度決算	2018年度決算	増減	2019年度予算
I 経常収支				
1 会費収入	2,149	2,039	△ 110	1,733
2 寄付収入	20,505	14,105	△ 6,400	13,319
3 事業収入	6,906	6,436	△ 471	6,295
4 補助金収入	8,337	10,014	1,677	8,545
5 その他収入	146	552	406	0
経常収益計	38,043	33,146	△ 4,897	29,892
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費	8,468	9,378	910	9,991
(2) その他経費	14,995	10,515	△ 4,481	11,958
事業費計	23,463	19,893	△ 3,570	21,949
2 管理費				
(1) 人件費	9,193	6,038	△ 3,156	3,632
(2) その他経費	4,849	5,014	165	4,181
管理費計	14,042	11,052	△ 2,990	7,813
経常費用計	37,505	30,945	△ 6,560	29,762
当期経常増減額	538	2,201	△ 318	13
III 経常外収益				
1 その他収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
IV 経常外費用				
1 その他費用	70	70	0	0
経常外費用計	70	70	0	0
当期正味財産増減額	467	2,131	1,664	13

▶ 貸借対照表（要約）

2019年3月31日現在

（単位：千円）

科目	
I 資産の部	
流動資産	39,069
固定資産	612
資産合計	39,681
II 負債の部	
流動負債	183
固定負債	5,797
負債合計	5,980
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	31,570
当期正味財産増減額	2,131
正味財産合計	33,701
負債及び正味財産合計	39,681

- 退会による会員数の減少により、会費収入は減少傾向にある。会費納入率は70%と堅調である。
- 寄付金収入は前年度から大きく減少した。企業・団体からの高額寄附を補助金に計上したことが一因であるが、寄付単価の減少も要因である。
- 東京、プノンペン の両事務所での織物販売は黒字で推移している。
- 前年度比でみると、収入は4,896千円減、経費は6,560千円減、収支は前年度比1,664千円のプラスとなった。

監査報告書

2019年4月18日

特定非営利活動法人幼い難民を考える会
代表理事 牛場 輝夫 様

監事 草野 榮雅

監事 鈴木 雅博

私たちは、特定非営利活動促進法18条の規定に基づき、特定非営利活動法人幼い難民を考える会の2018年度（平成30年度：2018年4月1日～2019年3月31日）の業務監査及び会計監査を実施した。

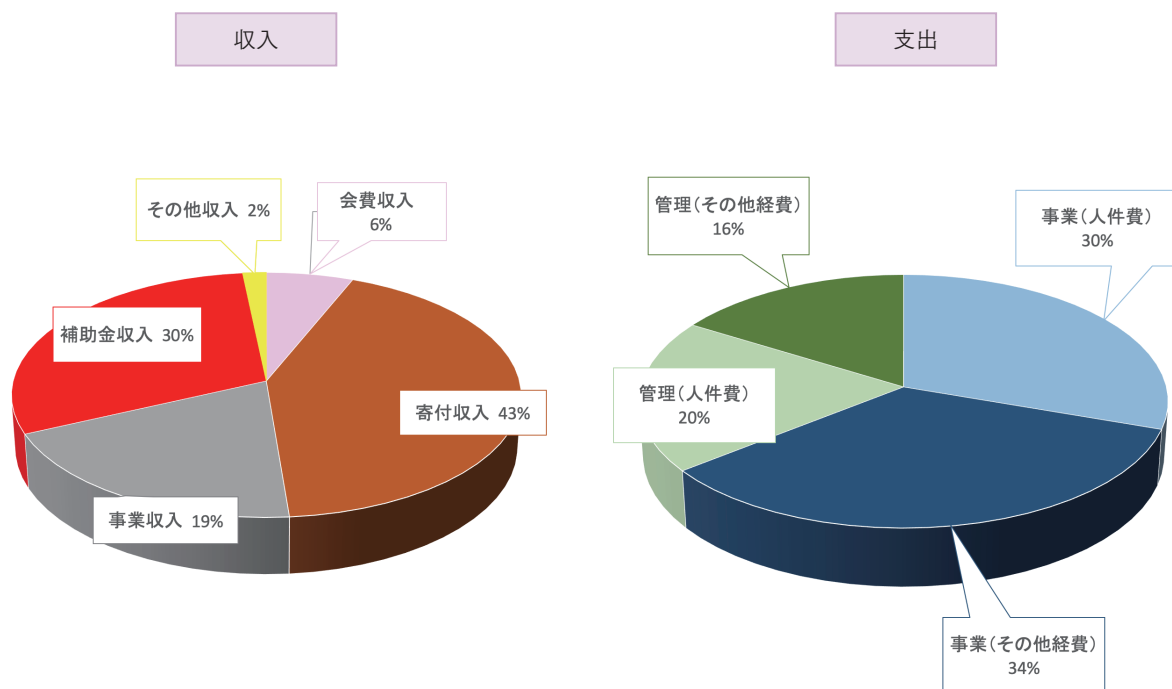
業務監査（理事の業務執行の状況に関する監査）に当たっては、理事会他の会議に出席し、必要と認める場合には質問をおこない、意見を表明した。
会計監査（財産の状況に関する監査）に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問を行った。

これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO法人会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められた。

ここに、私たちは、上記期間に係る事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が2019年（平成31年）3月31日における財産の状況を適正に表示しているものと認める。

以上

▶ 2018年度 収入・費用の内訳



▶ 2018年度事業部門別 活動計算書

(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

科目	合計	カンボジア事業			国内事業		管理
		保育	織物研修	織物販売	広報	織物販売	
I 経常収益							
会費収入	2,039	0	0	0	0	0	2,039
寄付収入	14,105	5,597		0	0	0	8,507
事業収入	6,436	199	0	5,108	580	548	0
補助金収入	10,014	7,514	2,500	0	0	0	0
その他収入	552	0	0	0	0	0	552
経常収益計	33,146	13,310	2,500	5,108	580	548	11,098
II 経常費用							
人件費計	15,416	4,969	1,033	1,378	1,998	0	6,038
その他の経費計	15,529	5,671	1,315	2,905	293	331	5,014
経常費用計	30,945	10,640	2,348	4,283	2,291	331	11,052
当期正味財産増減額	2,201	2,670	152	825	△ 1,710	217	47
前期繰越正味財産額	31,570	0	0	0	0	0	31,570
次期繰越正味財産額	33,771	2,670	152	825	△ 1,710	217	31,547

▶ 2019年度事業部門別 活動予算書

(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

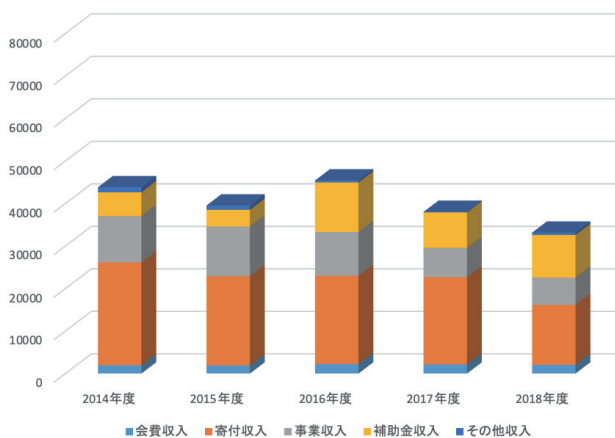
科目	合計	カンボジア事業			国内事業		管理
		保育	織物研修	織物販売	広報	織物販売	
I 経常収益							
会費収入	1,733	0	0	0	100	0	1,633
寄付収入	13,319	6,744	0	0	0	0	4,015
事業収入	6,295	252	0	5,363	520	160	0
補助金収入	8,545	8,068	477	0	0	0	0
その他収入	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	29,892	15,064	477	5,363	3,170	170	5,648
II 経常費用							
人件費計	13,623	4,948	34	1,628	3,121	260	3,632
その他の経費計	16,139	8,083	448	2,759	640	28	4,181
経常費用計	29,762	13,031	482	4,387	3,761	288	7,813
当期経常増減額	130	2,033	△ 5	976	△ 591	△ 118	△ 2,165
当期正味財産増減額	130	2,033	△ 5	976	△ 591	△ 118	△ 2,165
前期繰越正味財産額	34,116	0	0	0	0	0	34,116
次期繰越正味財産額	34,246	2,033	△ 5	976	△ 591	△ 118	31,951

▶ 活動収支年度別推移表

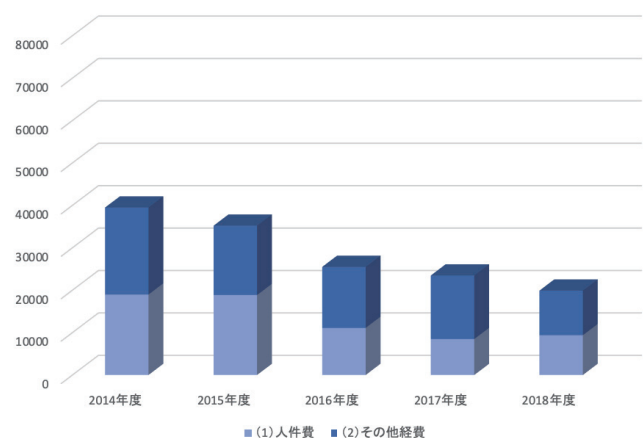
(単位：千円)

科目	2014年度決算	2015年度決算	2016年度決算	2017年度決算	2018年度決算
I 経常収支					
1 会費収入	1,949	1,906	2,219	2,149	2,039
2 寄付収入	24,180	20,965	20,757	20,505	14,105
3 事業収入	10,919	11,733	10,319	6,906	6,436
4 補助金収入	5,589	3,899	11,654	8,337	10,014
5 その他収入	1,196	1,025	471	146	552
経常収益計	43,833	39,529	45,420	38,043	33,146
II 経常費用					
1 事業費					
(1) 人件費	18,961	18,845	11,095	8,468	9,378
(2) その他経費	20,518	16,361	14,392	14,995	10,514
事業費計	39,479	35,207	25,487	23,463	19,893
2 管理費					
(1) 人件費	6,896	6,988	11,087	9,193	6,037
(2) その他経費	7,401	4,673	6,399	4,849	5,014
管理費計	14,297	11,661	17,487	14,042	11,052
経常費用計	53,776	46,868	42,974	37,505	30,945
当期経常増減額	△ 9,943	△ 7,275	2,446	537	2,201
III 経常外収益					
当期正味財産増減額	△ 8,819	△ 7,339	2,376	467	2,131
前期繰越正味財産額	44,884	36,065	28,726	31,103	31,570
次期繰越正味財産額	36,065	28,726	31,103	31,570	33,701

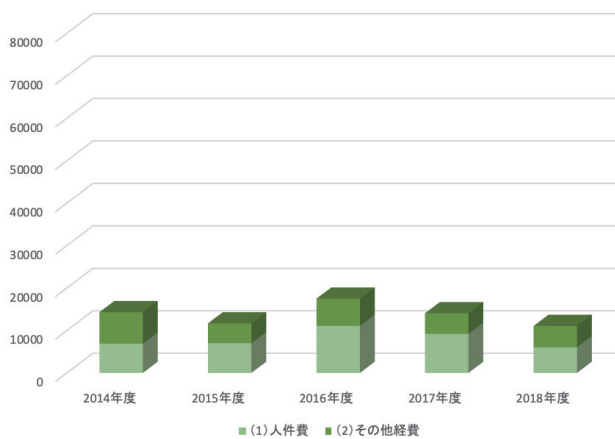
経常収入の内訳推移



事業費の内訳推移



管理費の内訳推移



経常収入の内訳推移

寄付金が5年前と比べて1千万円減少しているのは、寄付者数は微減であるものの、寄付単価が減少していることによる。

事業費の内訳推移

織物事業については計画的に削減してきた結果、5年前と比べると、人件費、経費共に半減している。

管理費の内訳推移

人件費、経費共に横ばいで推移している。2016年度から2017年度半ばにかけ、激減した補助金収入を回復させるため、補助金申請事務に知見を有する職員を採用したため一時的に人件費が増加しているが、補助金収入が回復し、投資効果は大きかった。

幼い子どもと女性の自立のために当会を支えている人々と団体

▶ 2018年度 補助金・助成金を通じてご支援いただいている企業・団体

- 公益財団法人日本国際協力財団 -----2,500,000 円
- 積水ハウス株式会社、積水ハウスマッチングプログラムの会 -----1,500,000 円
- 日本労働組合総連合会 -----1,500,000 円
- 名古屋駅地区振興会 -----1,380,000 円
- 株式会社有沢製作所 -----1,360,000 円
- 全日本自治団体労働組合（自治労）福岡県本部 ----- 700,000 円
- 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン厚木 ----- 600,000 円
- 株式会社フェリッシモ ----- 474,149 円

(2018/4/1～2019/3/31入金分を記載しています。)

▶ 2018年度 寄付者（寄付金 10 万円以上の団体、あいうえお順）

- 幼い難民を考える会チャリティ・バザーグループ
- 株式会社一五不動産情報サービス
- CANTATE DOMINO
- キューピー株式会社
- 枝光学園幼稚園
- 聖心女子大学同窓会宮代会
- 全国友の会
- 全日本自治団体労働組合（自治労）福岡県本部
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
- 特定非営利活動法人 WE21 ジャパンたま
- 特定非営利活動法人 WE21 ジャパンとつか
- 三菱商事株式会社

(2018/4/1～2019/3/31 入金分を記載しています。)

▶ 2018年度 「布チヨッキン募金」寄付者（団体のみ）

- アクセンチュア株式会社
- 伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社
- WE21 ジャパンあやせ
- MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ
- 株式会社ジェーシービー
- 株式会社東京海上日動キャリアサービス 東北支社・盛岡支社
- 教覚寺女性の会
- コヴィディエンジャパン株式会社
- ゴールドマン・サックス証券株式会社
- サントリーコミュニケーションズ株式会社
- 三和ホールディングス株式会社特定非営利活動法人 WE21 ジャパンざま
- 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン都筑
- 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン大和
- へきなん保育園
- ヘンケルジャパン株式会社
- 本田技研株式会社
- 丸紅株式会社・関連会社
- 三菱商事株式会社
- 三菱UFJ信託銀行株式会社
- モルガンスタンレーMUFJ証券株式会社
- レクシスネクシス・ジャパン株式会社
- ロバート・ウォルターズジャパン株式会社

実施協力団体

- 公益財団法人フィランソロピー協会
- ハンモックツリー

(2018/4/1～2019/3/31入金分を記載しています。)

わたしたちの組織

▶ 会員数・寄付者数・役員・職員

会員数

内訳	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末	2015年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末
個人	342	339	340	328	284	241	215
団体	6	9	8	9	9	7	8
学生	10	3	3	3	4	4	3
計	358	351	351	340	297	252	226

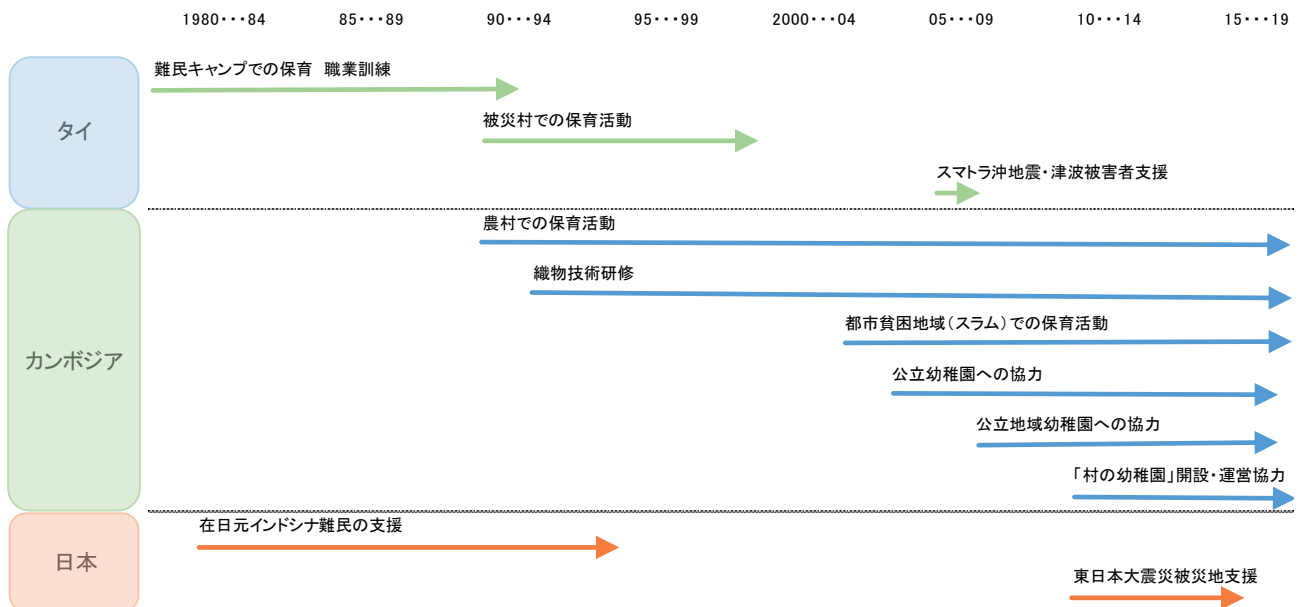
寄付者数

	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末
計	1,389	537	479	452	523	438	441
個人		428	370	357	445	348	379
団体		109	109	95	78	90	62

役員

2019年3月末現在		職員	
代表理事	牛場 輝夫	2019年3月31日現在	
副代表理事	山極 小枝子	東京事務局	： 3名（事務局長 関口 晴美）
理事	廣戸 直江	プノンペン事務所	： 9名（所長 チャン・スレイ）
理事	雨森 政恵	2019年4月1日現在	
理事	関口 晴美	東京事務局	： 3名（事務局長 関口 晴美）
監事	鈴木 雅博	プノンペン事務所	： 6名（所長 チャン・スレイ）
監事	草野 榮雅		

▶ 活動履歴



幼い難民を考える会の理念

幼い難民を考える会、その原点「カオイダン難民キャンプ」から39年。
掲げる「理念」は、私達の活動の根幹として変わることなく受け継がれている。

Children, Our Future

今日の子どもの幸せが、明日の平和な世界へつながります。

1980年、内戦により難民となったカンボジアの子どもたちがタイ国境の難民キャンプの恵まれない環境のなかで少しでも人間らしい環境と必要な配慮のもとで暮らせるようにとの願いから、幼い難民を考える会（CYR）の活動は始まりました。

難民キャンプ閉鎖後は、復興をめざすカンボジアの農村で子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと女性の自立を支援する活動に取り組んでいます。

会の名前を「難民の子ども」ではなく「幼い難民」としたのは、子どもという独立した人格を尊重する立場から、子どもたちの成長が守られて初めて、祖国を逃れてきた人たちの、あるいは、その国の自立の問題に結びつくと考えたからです。

また、「考える会」としたのは、助けるという意識がしばしば相手の自立を侵したり、相手を管理する体制に陥りがちであることを認識し、難民問題をいろいろな側面から考えていきたいという会の基本姿勢に根ざしています。

私たちはこれからも、さまざまな理由により厳しい境遇に置かれている子どもたちの健全な成長を支援し、その保護者たちが人間らしい生活環境のもと自立できることをめざしてひとつひとつの小さな積み重ねを大切にしていきます。そのことが、難民を生み出さない、明日の大きな平和を創る力となることを、信じています。



■ 東京事務局

〒110-0016
東京都台東区台東 1-12-11 青木ビル 2A
TEL: 03-6803-2015
Email: info@cyr.or.jp
URL: <http://www.cyr.or.jp>

■ プノンペン事務所 -Pidan Khmer 併設 -

#170, St.63 Preah Trasak Paem,
Sangkat Boeung Keng Kang I,
Khan Chamkarmon Phnom Penh, Cambodia
TEL: +855-23-210849
Email: info@cyk.org.kh
URL: www.cyk.org.kh

■ プノンペン事務所地図



会費お振込み、活動へのご支援は、こちらまでお願いいたします。

郵便振替 00110 - 8 - 36227

三菱UFJ銀行 六本木支店（普通）1351747

特定非営利活動法人 幼い難民を考える会

*CYRは、認定NPO法人です。ご寄付は、寄付金控除の対象となります。

2018年度年次報告書 2019

発行日：2019年7月 発行者：牛場輝夫